

公明党 横浜市会ニュース 第68号

民衆の声
ボイス

VOICEよこはま

公明党横浜市議員団 〒231-0017 横浜市中区港町1-1 TEL.671-3023 FAX.681-2060 http://www.yhkomei.com/ E-mail:shikai@yhkomei.com

高齢者の安心

● 高齢者の肺炎球菌による疾病の発生や重症化を予防するため、本年10月から、肺炎球菌ワクチンの接種に公費負担が実施されます。対象は、65歳以上の方で、65歳、70歳、と5歳置きでの年齢での実施となります。想定では接種費用は3千円、生活保護・市民税非課税世帯は無料と見込まれています。



地域の安全対策

● 鶴見区内の生見尾踏切の安全対策として、立体横断施設の早期完成(28年度)を目指し、設計が進められます。

● 鉄道駅における転落事故防止のために可動式ホームドアを整備します。東急東横線・みなとみらい線の横浜駅は、26年度中の完成予定です。



防災・減災



〈イメージ〉

災害時の安全性の向上に加え、災害に備えるための学習教材のひとつとして、児童自らの安全を守る自助の意識を養います。

● 学校防災備蓄品のひとつとして、市立小学校の児童を対象に携帯型防災ヘルメットが配備されます。26年度は、一学年分の配備となります。

配備されるヘルメットは、落下物や火災から頭部・首を守り、平常時は収納に場所をとらない形状のものとなる予定です。

子育て・教育

● 放課後児童育成事業で、障がい児の受け入れのための補助が増額されます。

● 特別支援教室と兼ねているすべての特別教室(図書室、理科室、美術室、調理室)に空調設備が設置されます。(24校)

● 全市立中学校で栄養バランスのとれた温もりあるランチの提供に向けた調査等が実施されます。



平成26年度

予算に公明党の主張が大きく反映!

平成26年度横浜市予算が成立しました。これまでの予算要望や議会における議論を通して、公明党横浜市議団の主張が反映されました。市民生活の安全・安心を守る取り組みが、大きく前進します。

望月やすひろ通信 市政報告 Vol.21



3月20日の予算総合審査

平成26年横浜市会第1回定例会の予算委員会において、総合審査の質問に立ちました。市長をはじめ教育長、各局長に市政全般にわたって幅広く質問しました。主な質疑を取り上げて報告します。

食育と中学校昼食

Q: 中学校における食育と今後検討する望ましい中学校昼食のあり方について。

A: 中学校における食育は、小学校で学んだ基礎的な知識を基に、生徒自身が「食を自己管理できる能力」を身に付けることが大切。そのためにも、中学校昼食は、家庭弁当を基本としつつ、持参できない状況の時に、メニューや量が選択できる、栄養バランスのとれた温もりのある昼食が提供できる環境を整えていく必要があると考えている。



風水害対策

Q: 昨年11月にフィリピンを襲った台風30号のような想定し得ない大規模な風水害の発生に対して、どのような対策を図っていくのか?

A: 市民の皆様が災害情報をいち早く収集できるように、地域の情報網を活用した多角的な広報と啓発に取り組む。また、自治会町内会等に積極的な情報提供を行い、できるだけ早い段階で避難所を開設するなど、地域と連携した避難対策を進めていく。



小児医療費助成

Q: 小児医療費助成の拡充を要望してきたが、本事業の子育て支援施策における本市の位置づけは?

A: 少子化が進むなか、子育て世代の方々の経済的負担の緩和と、そのお子様たちの健やかな育成を図るための大切な施策と位置付けている。



防災文化の育み

Q: 中学生が地域の防災活動に積極的に関わることで、地域全体の防災力が向上すると考えるが。

A: 中学生が地域で防災活動の担い手となり、地域の共助や地域防災拠点の運営などで大きな力になると考える。また、拠点訓練と防災教育を連携させることで地域全体の防災力をさらに向上させることが重要だと認識している。

空き家対策

Q: 空き家の増加が及ぼす影響とその対応について。

A: 空き家の発生は、防災や防犯、景観など様々な問題を伴い、地域に大きな不安を与え、今後、放置された空き家が増加すれば、地域の活力、更には、都市全体の魅力の低下に繋がる恐れがあると認識している。そのため、所有者による空き家の適正な維持管理や、売却・賃貸などの流通の促進について、関係区局が連携し、取り組んでいく。

平成26年予算特別委員会から

市民局 「スケートリンクの代替施設について」



中島 光徳 (戸塚区選出)

ウィンタースポーツ振興の貴重な拠点となっている神奈川県スケートリンクがある市有地の減免貸付けを継続することや、代替リンク用として旧市立横浜総合高校の体育館を貸与していく旨、答弁しました。

局長は、神奈川県スケートリンクが市のアイススケート振興の貴重な拠点であることから、現在のスケートリンクがある市有地の減免貸付けを継続することや、代替リンク用として旧市立横浜総合高校の体育館を貸与していく旨、答弁しました。

資源循環局 「古紙の資源集団回収について」



高橋 正治 (緑区選出)

資源集団回収の効果について質問しました。

局長は、リサイクルを安定的に推進することができ、登録団体の活動を通じて、地域コミュニティの活性化が図れる効果があると答弁しました。また燃やすごみに混ざっている古紙を減らす対策について質問しました。

局長は、燃やすごみの約10%を占める古紙を資源集団回収に出していただくため、チラシ等で周知していく旨、答弁しました。



地域包括ケアシステム&在宅医療連携拠点

公明党は、団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な介護状態になっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けることができるよう、住まい・医療・介護・介護予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を目指しています。その一環として医療と介護の連携を進める在宅医療連携拠点の整備を推進してきました。昨年11月にスタートした西区のモデル事業に続き、今年度は新たに市内2区で事業を展開します。



西区在宅医療連携拠点を視察(H26.2)

中学校昼食 「横浜型スクールランチの実現に向けた取り組み」

公明党横浜市議団は、これまで、市立中学校における望ましい昼食のあり方について、食育や女性の社会進出などの観点から、家庭弁当との選択制で、栄養バランスの取れた複数のメニューから選べる横浜型スクールランチの導入に向けて取り組んでまいりました。

名古屋市、大阪市、新潟市や相模原市など他政令市で実施されている中学校昼食を視察し、その実態からも財源・販売価格・効率的な運営方法や食育も含めた食べ残し対策等、横浜型スクールランチ導入に向けた調査や課題の整理などの調査研究を進め、本会議や委員会での議論を積極的に行ってきました。

その結果、平成26年度予算に、全市立中学校において、栄養バランスのとれたランチの提供に向けた調査やアンケートを行う費用が計上されました。具体的な取り組みとして、

- ①栄養バランスの取れた温もりあるランチを、デリバリー方式などで導入できるかどうかを検討するにあたり、配膳スペースの把握や敷地内動線などハード面の現況調査
- ②献立指導の方法や昼食準備に必要な時間の工夫、保護者負担などのソフト面の調査
- ③調査にあたって、学校関係者の声を反映するため、生徒・保護者・教員等へのアンケート

これらを踏まえて、27年度には横浜型スクールランチのモデル実施を行えるよう、議員団として全力で取り組んでまいります。



新潟市内の中学校に設置されたランチルーム(H26.1)



市内のモデル実施校を視察(H24.7)



スクールランチ食券予約機(新潟市)



相模原市でのヒアリング(H26.1)

建築局 「空き家対策について」



安西 英俊 (港南区選出)

地域では解決できない空き家に係る課題を解決するため、市内の連携を強化し、所有者への指導、危険な空き家の除却を進める支援策、空き家の発生を防ぐ方法、利用可能な空き家の活用方策などについて検討を進め、積極的に対策を講じていく旨、答弁しました。

総務局 「防災・減災における海外との都市間交流を」



竹内 康洋 (神奈川区選出)

防災・減災をキーワードに横浜市と海外との都市間の協力関係を深めていくことは非常に重要であると訴えました。

副市長からは、横浜市がアジア太平洋地域において、80数都市が加盟しているシティネットの防災部会長に選ばれており、より一層、横浜市が有する防災・減災のノウハウによる協力関係を深めることが重要であると考えている旨の答弁がありました。

港湾局 「超大型客船の受け入れについて」



福島 直子 (中区選出)

横浜港の客船寄港数は、昨年まで11年連続日本一を達成しています。今後の船の大型化への対策について質問しました。

私立幼稚園の就園奨励補助金制度が変わります

幼稚園に通っているお子さんで、小学校1〜3年生の兄弟が1人いる場合に、補助金が増額されることになりました。補助金額は世帯の市民税額などによって異なります。詳しくは、横浜市のホームページの「こども青少年局」のページをご覧ください。ただ、各幼稚園にご確認ください。



教育委員会 「全市立学校の空調設備について」



高藤 真一 (都筑区選出)

局長は新港埠頭9号を耐震強化岸壁に改良し客船も停泊できるようにするとともに、本牧ふ頭A突堤を多目的ふ頭に変更することで、ベイブリッジを通過できないような超大型客船の停泊・入管を可能にするよう調査・設計を行うと答弁しました。

全市立学校の普通教室への空調設備の設置は25年度末で完了しました。これに引き続いて、全市立学校の音楽室、理科室等の特別教室の空調設備についても早急に整備すべきと訴えました。教育長は、26年度は、特別教室を特別支援教室と兼用している24校に設置し、残る教室にも早急に整備できるよう関係局と調整すると答弁しました。



道路局 「路面下空洞調査の進捗状況について」



尾崎 太 (鶴見区選出)

局長は、調査の重要性を再認識するとともに、これからも災害時における道路の通行機能の確保を図り、市民の安全・安心を確保するため、スピード感を持って、路面下空洞調査に取り組むと答弁しました。